

## 最近の経済・雇用情勢について

産業労働部産業政策課

## I 経済情勢

## 1 日本

## 月例経済報告〔平成 26 年 8 月（H26. 8. 26 内閣府）〕

景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。

- ・ 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、増加傾向にあるものの、このところ弱い動きもみられる。
- ・ 住宅建設は、このところ減少テンポが緩やかになっている。
- ・ 公共投資は、堅調に推移している。
- ・ 輸出は、横ばいとなっている。輸入は、このところ弱含んでいる。貿易・サービス収支の赤字は、減少傾向にある。
- ・ 生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、弱含んでいる。
- ・ 企業収益は、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、慎重となっているものの、改善の兆しもみられる。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は、着実に改善している。
- ・ 国内企業物価は、緩やかに上昇している。消費者物価は、緩やかに上昇している。

参考：四半期別実質 GDP 成長率（H26. 9. 8 内閣府）

（単位：％）

	H25. 4-6 月期	7-9 月期	10-12 月期	H26. 1-3 月期	4-6 月期 ※2 次速報値
季節調整済前期比	0.9	0.4	▲0.0	1.5	▲1.8
年率換算	3.4	1.4	▲0.2	6.1	▲7.1

## 2 長野県

## 長野県の金融経済動向（H26. 9. 5 日本銀行松本支店）

長野県経済は、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は増加している一方、住宅投資は前年を下回った。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には消費者マインドの改善を背景に、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は緩やかに回復している。このほか、雇用・所得は、着実な改善が続いている。

## II 雇用情勢〔平成 26 年 7 月分（H26. 8. 29 長野労働局・厚生労働省）〕

雇用情勢は、一部に厳しさが見られるものの、着実に改善が進んでいる。

有効求人倍率

長野県	1.12 倍	前月 1.09 倍と比べ 0.03 ポイント上昇
全国	1.10 倍	前月 1.10 倍と同水準

※2年2か月ぶりに全国を上回った。

## 参考：株価・円相場

（単位：円）

	H24. 11 月 ①	H26. 9. 17②	②-①	H24. 11 月以降の 最高値・最安値
日経平均株価（終値）	9,446.01	15,888.67	6,442.66	16,291.31（H25. 12. 30）
1 米ドル	80.89	107.26	26.37	107.26（H26. 9. 17）
1 ユーロ	103.79	139.00	35.21	144.95（H25. 12. 30）

※円相場：H24.11 月は月中平均、H26.9.17 及び H24.11 月以降の最高値・最安値は午後 5 時現在